第 2012-18 号

恵みと真理のニュース

2012 年 9 月の 二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]　ふんだんな信仰の実を結ぶようになさったらありがとうございます.

私は仏教の家庭で生まれてご両親の偶像崇拝をなさる姿を見ながら育ちました.青年時代にお母さんが密かに私の財布の中に符籍を入れておきました. 私はお母さんにそれはつまらないことだから申し上げて火に燃やしてしまいました. その後 1983 年お母さんは忠南の青陽で教会に出席し始めました. 私は確固な信仰がなかったがお母さんと一緒に礼拝差し上げた方が良かったです. お母さんはキリスト様を救世主に迎接した後洗礼も受けて勧事の職分も受けて信仰生活を熱心によくしている途中 2011 年に神様の呼ぶことを受けて天国でいらっしゃいました.

私は 1983 年度に結婚をして 1985 年に職場に沿って安山に引っ越して来て暮すようになりました. 隣りに住む 恩恵と眞理教会の区域長たちがうちの夫婦に熱心に傳導をしました. しかし忙しいという言い訳をして教会へ行く考えをしなかったです. 職場生活をした中に産業災害によって身にけがをして脊椎の手術を受けるようになりました. 手術も大変だったし手術後にも苦痛が非常にひどかったです.
さまざまな方法で治療を受けたが何らの無駄でした. その頃ただキリスト様の外には信じる方がいないということを悟ってキリスト様を頼って暮すことに決心して 1988年 恩惠と眞理教会に出て行ってキリスト様を救世主に迎接しました.

当会長の牧師様を通じてお話を聞く中に多い恩惠を受けて私の目では限りなく涙が流れました. 私の信仰生活は不足な部分が多いことにも私のお子さんたちが　もしか週間礼拝を犯す場合があれば叱る場合もありました. その後区域長の職分も受けて初めには感謝する心で熱心に礼拝を差し上げて区域の家族たちの面倒を見ました.

ところで身が元気になってからこそ信仰生活と奉仕生活を疎かにするようになったし お金を儲ける事にだけ関心を傾けて週間礼拝だけ辛うじて差し上げるようになりました. しかし感謝するにも聖霊様が役事なさって 当会長の 牧師様のお話と教区長の勧勉のお話を通じて再び信仰を回復するようにしてくださいました. 過去に物質だけ従って生活した時を振り返えたら信仰生活をなおざりにしただけでなく物質的でも大きい利得がなかったです. しかし神様の中心の生活をすると神様が物質の福を加えてくださいました. 切実な心で祈って願ったとおり 4階一戸建てを持つようになったし　これからは一建物の内に住いと事業場があって便利な生活をするようになりました.

ところで切ないことはこんなに神様に大きい福を受けたが聖徒としての本になることができないタバコを完全に切ることができなくて常に心苦しかったです. タバコをやめるようにしてくれと言って神様に祈っていつも努力したある日でした. 私の口の内に新鮮なその何で一杯なような感じを受けました. その後タバコを完全に切るようになりました. ハレルヤ! これからはこれ以上心が萎縮しないで胆大に信仰生活ができるようになって喜びで奉事するようになりました. 2006 年に按手執事の職分も受けました.

私の家庭には娘がふたりいます. 幼い時から信仰生活がお上手になるように気を使いながら育てました. 現在に姉娘は教会の中で連れ合いに会って結婚をして教会学校の教師で献身をしているし末娘は教会からバイオリン演奏で献身しています. 神様が 私の家庭に時を合わせて助ける恩惠を施してくださって信仰の家庭で建ててくださることを感謝いたします. そして植えたとおりおさめるだろうと言うお話どおり 30 倍 60 倍 100 倍でふんだんに満たしてくださったらありがとうございます. また第 58 回の区域長セミナーの時当会長の牧師様のくださるお話のように聖霊様を頼って聖霊の能力で神様がくださる職分をよくお手におえながら死ぬように忠誠する者になるのを祈ります.

[信仰コラム]　神様のみ旨(むね)を行う者

世と世の 欲とは過ぎ去る しかし 神様のみ旨を行う者は 永遠にながらえる　(ヨハネの第一の手紙 2：17)

人生の行路の旅路で必ず察して確認しなければならないことがあります それは 神様のみ旨です いくら博学多識な人でも 神様のみ旨が分からなければ 漂流する船と違いない人生です. 終りは船が座礁されて沈んでしまいます. 死とともに滅亡に至るようになります　神様のみ旨に対する正確な知識は聖書で捜すことができます. 神様のみ旨に関して重要で基本的な二つを捜して見ます.

神様のみ旨は善という事実が分からなければなりません. 世の中で聞いてみて経験する不幸な事件によって神様を誹謗する人々がいますこの世の中で人間に近付くあらゆる苦痛と悲しみと災難は神様のみ旨ではないです　人間の罪と愚鈍さと無分別な行為のためです.
アダムの犯罪によって呪われた地の上で暮すからです. 神様には偽りと不義と悪が全全ないです. だから神様のみ旨はいつも善です. そういう事実の圧倒的な証拠はキリストイエスです.

キリストイエスを世の中に送って下さった神様のみ旨は人から悲しみと絶望, 苦痛と疾病, 貧乏と呪いをとり除いて代りに喜びと平安, 健康と豊かさをくださるためなのです
神様のみ旨が完全に善だということを聖書に記録された　み言葉でそして私たちの信仰生活を通じて分かります誰でも福音を聞いて信じれば救いを得るようになさったのが神様のみ旨です 私たちのあらゆる求めることや思うことにもっとあふれるようになさること 神様を愛する者すなわちそのみ旨のどおり呼ばられた者等にはすべてが合力して善を成す 私たちのしばらく受ける軽い患難が極めて大きくて永遠な重さある光栄を成すようになさること私たちが神様を仕えて福音を伝えるために行うすべての苦労と献身に対して　賞と褒め言葉と冕旒冠をくださるのが神様のみ旨です また口魂がよくできるのように凡事によくできて壮健を求めるようになさったのが神様のみ旨です.

神様の善良なみ旨を信じてそれに順応しなければなりません. 神様のみ旨 に対する人々の反応を　およそ三種類で分けることができます. 第一, 神様のみ旨に真に従いながらも　一方ではぐずぐず言う人がいます. イスラエルの民たちがそうでした 彼らは乳と蜂蜜が流れる地を目の前に置いてからも入って行くことができずに荒野をくるくる回わってから死に去ってしました 第二, 神様のみ旨を仕方なく従って行く人がいます.
実は神様のみ旨は誰でも何でも逆うことができない絶対的なみ旨です. しかし私たちが一つ分からなければならないことは神様は哀れみが溢れるだから私たちの祈りを聞いて自分の意を変えたりするというのです　神様が決めた事に対しては選択の余地もなくそのみ旨を収容しなければならないと思う人々は聖書に記録されたこのような事例たちを憶える必要があります 第三 神様のみ旨を喜んで従う人がいます.こんな人は神様のみ旨を受け入れればいつも最善の結果が近付くことを信じて疑わないです.
中途に難しい事に会っても不平を言うとか気落ちしないです.
ゲツセマネ 園でキリストイエス様の祈る場面は多くの教訓を与えます. キリストイエス様は十字架で死の後に近付く結果を眺めてお父さんのみ旨の 意を素直で 従うことになりました.

罪人を救援する道に対する神様のみ旨は確かです. 救援の抉る神様が決めたみ旨です 人々は世の中に住みながら　何でもどうしようが　世の中ものなどをもっと　たくさん所有しようと労力するが　この世の中と欲望は皆過ぎ去ってしまってしまいます. しかし神様の善良なみ旨が分かってその意を従って行う人々は永遠にキリストイエスとともに暮すようになります.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

相変わらずの信仰生活

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

神様の存在と屬性に関しては神様の啓示がなければ誰もわからないです．神様はお自ら造られた万物，人類の歴史そしてみ言葉を通じて神様の存在と屬性を啓示なさいます．聖書が記録される前には神様が直接あるいは神様の天使を通じておっしゃったが今日には聖書を通じておっしゃいます．神様の屬性は永遠に不滅です．だから神様が約束したみ言葉も不変です．聖徒たちは神様の屬性が永遠に不変だという事実によって世の中が与える事とは違う喜びと平安と胆大さを持って生きて行くことができます．神様の口の約束すなわち言約を信頼と神様の命令に順従して生きて行きます．神様の屬性は変わりがないという事実に基盤して聖徒たちに切要に要求されることは神様との関係で変わりがあってはいけないというのです．そんなにすることで神様に榮光を捧げられて神様を喜ばれて上げるのです．神様との関係で私たちに変わりがあってはいけなくて持続しなければならないものなどが何やらよく探して見ましょう．

第一，神様と専らお供しなければなりません．

昔の族長エノクとノアの生涯に対する記録をよく見れば宝石を見ることように美しいです．その宝石にダイヤモンドがはまっています．“エノクは６５歳にメドセラを生んだしメトセラを生んだ後三白年を神様と　お供してお子さんを生んだし彼が３６５歳を享壽した　エノクが神様とお供したら神様が彼を連れて行くので世の中にないのである”（創世記 5:21～24）…ノアはエホバに恵みをこうむったノアの史蹟はこうであるとノアは義人であり当世に完全な者だと彼が神様とお供したし（創 6:8,9）〈神様とお供した.〉この部分がダイヤモンド一緒にひらめきます．神様とお供したというお話の意味をエノクとノアがそれぞれ特色あるように現わしています．

エノクは神様が必ずいらっしゃったことを信じました．これは神様の存在に対する信頼以上です．神様が凡事を主観していらっしゃるという信頼を専ら持っていたのです．そしてエノクは神様は自分を捜す者等に賞をあたえる方なのを信じました．これは神様が私たちに関心を持っていらっしゃること以上を意味します．エノックは神様に助けを求めて期待する者には最善の結果をくださるという信仰を持続的に持っていました.神様が必ずいらっしゃって神様を求めて探す者等に賞をあたえるということを信じることは難しくないです.しかしどんな状況でもその信仰を長続くことは易しくないです.期待が外れてする仕事がねじられるようになれば心に疑心が雲のように起きます．聖徒の皆さん，この一つを憶えてください．“神様はその民に良いことを予備なさる前には試練を承諾しません．神様が私たちにどんな苦難をお許し願えることは次のどんな線を予備しておいたからです．”神様とお供する生活でノアの見せてくれた特色は彼の当面した状況がどうしでも神様が言い付けたそのまま行うのです．人々があざ笑って責めてもものともしなくて専ら神様の言い付けたとおり行いました．方舟が完成されて方舟に入って行く日まで少しも動搖しなかったです．120 年を一様でした．人がひとりぽっちになれば普段思わなかった敵方ができます.おちゃらかして責める者等に囲まれたりします．そうでも専ら神様の臨在と助けることを信じなければなりません．聖徒の皆さんはエノクとノアの本を従って専ら神様とお供するように願います．

第二，相変わらず神様を愛しなければなりません．

神様を向けた愛を持つようになることは神様の愛を与えられた結果です．神様の愛の中一番大きくて強烈な愛はイエスキリストの中で現わした愛です．罪の中に生きて死んで滅亡に処するようになる罪人を救援しようと神様がそのイエスキリストを世の中に送った愛そしてキリストが神様のみ旨に完全に順従して代贖の死を死んだ愛は人間の理解を超越する愛です.私たちが享受するようになる神霊な恵みは神様の愛に対する悟りの大きさに比例します．イエスキリストでよる神様の愛が分かってからも神様を愛しないことはありえないです.聖徒の皆さんが神様を愛するようになったことは神様の愛を受けたからです．ところで世の中ものなどに目が眩んで神様を向けた愛が冷えられて変わったらそれよりもっと不幸な事はないです.エペソ 6：24 節に記録されるのを“私たちの主イエスキリストを相変わらず愛するすべての者に恵みがあるすべきだ”としました．私たちの中に誰でも自分のために生きる者がいなくて自分のために死ぬ者もないのだ　私たちが住んでも主のために暮して死んでも　主のためにだからだ生きるか死ぬか私たちは　主のものだ”（ロム 14:7,8）しました.これは神様を相変わらず愛する人の生死観です．

第三，神様の仕事にいつも力をつくさなければなりません．

イエスキリストを迎接する前にはすべての事を人本主義にして自分の本位にした人が聖徒になった後には変わります.神様の仕事に参加するようになります.神様の仕事と言うのは福音をのべ伝えて信者たちの信仰を引き立ててくれることに連関されたすべての事を言います.福音の傳導者を教育養成する事，宣教師を派遣して後援する事,直接傳導する事，各種媒体を通じて福音をのべ伝える事，教会堂を建てる事，礼拜と信仰教育のための奉仕，献金を差し上げるのが皆が神様の仕事です.コリント 第一 15：58 節に“だから私の愛する兄弟たちよ堅固で搖れなくていつも　主の仕事にもっと力をつくす者等になりなさいこれはあなたがたの労苦が主の中で無駄ではないと知っているからである”言いました．死んだ後には神様の仕事をする機会がないです　私たちが肉身を着ている時行った事によって将来神様から称賛と賞を受けるようになるでしょう．

イエス様がエルサレムに上がる中ベダニヤ村に入りました．その所にナザロとその妹たちが住んでいました．彼らはイエス様と弟子たちのために食べ物をふんだんにしたくしました．そしてマリアが高価なナルド香油が入った　石膏のつぼを持って来て破ってその香油をイエス様に注ぎかけました．これを見てガリョッユーダが怒りを出しながらきびしくとがめました．“どんな理由で浪費するのかそれを売って慈善救済に使ったら良かったのではないか?”しました．その言葉を聞いて他の弟子たちも同調しました．その時イエスが直ちに反応を見せました．“するままにさせておきなさいあなたたちがどんな理由で私をつらくするのか　マリアは私に良い事をしてくれたのだと．”（マルコ 14:6）しました．神様の仕事をする　聖徒に向けて世の中が何だと責めて判断してもそれは重要ではないです.神様が“あなたが私に良いことをしてくれたのだ．”とおっしゃれば私たちにその以上もう満足した事がないです．聖徒の皆さんは神様の仕事を邪魔して責める言葉によって搖れないでください．　むしろそれによってもっと堅固になって搖れなくなるように願います．そしていつも主の仕事にもっと力をつくす　聖徒になってください．

第四，持続的に聖霊充満しなければなりません．

イエス様の弟子たちは神様の命令どおり聖霊降臨を待ちました．エルサレムのある家に120人が集まってまったく祈りました　このように祈祷した後十日になりました.その日はユダヤ人のすぎこしの節期の中の五旬節の日でした．忽然と天から急で強い風みたいな音がしたら，彼らが座った家に一杯でまるで火の舌のように割れたものなどが現われて彼らに見えて各人の上に臨んだら彼らがすべて聖霊の充満することを受けて聖霊が言わせることをよって他の方言で言うのを始めました.その日から弟子たちが皆胆大に福音をのべ伝えたのに奇蹟と奇事が起りました．一日に三千人あるいは五千人が悔い改めてキリストイエス様を自分の救世主に信じて迎接しました．こんな事態を見守ったユダヤ宗教リーダーたちが荒ててペテロとヨハネを逮捕して拘禁した後脅かして放してやりました．すると弟子たちが集まって祈りました．彼らが祈祷を終えるや集まった所が震動したし，皆が聖霊が充満して神様のみ言葉を胆大に述べ伝えました．彼らは繰り返される聖霊の充満を体験しました．聖霊充満するようになる体験は使い捨てではないということを言い表す事件です．

世の中人々は懸念を忘れて喜びを得ようとお酒を飲みます．しかしそれによる弊端と後遺症がいくら大きいかをこの社会はよく分かっています．

聖書は“酒に酔わないでこれは乱行のもとである　むしろ聖霊の充満を受けなさい”（エペソ 5:18）しました.充満と翻訳された聖書原語は持続的な充満を意味する言葉です．皆さんは持続的な聖霊充満を切に求めて聖霊様に常に頼ってください．

聖徒の皆さんは神様と専らお供して，相変わらず神様を愛して，神様の仕事にいつも力をつくして，持続的に聖霊充満してください．そして永遠に変わりがない神様から称賛の言葉と賞を受けてください．